

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 25 年 3 月 21 日 (2013.3.21)

【公開番号】特開 2010-182304 (P2010-182304A)
 【公開日】平成 22 年 8 月 19 日 (2010.8.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2010-033
 【出願番号】特願 2010-21076 (P2010-21076)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 13/00 3 5 1 A

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 2 月 1 日 (2013.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つの通信ネットワークへ接続されているピア間におけるピア・ツー・ピアモードでのデータの送信を管理する方法であって、夫々の送信が、選択された相互関係メカニズムに従って、ピアによって他のピアからの要求の受信の後に行われる方法において、

ピアが、少なくとも 2 つの異なる優先レベルの組から選択される第 1 の優先レベル X_k に従って、N 個のデータブロックを他のピアから受信したい場合に、前記組から選択される第 2 の優先レベル $X_{k'}$ に従って、少なくとも 1 つの他のピアへ送信すべきデータブロックの数 M と等しい交換価値を当該ピアへ割り当てるステップを有し、

M は $N \times m_{k'k}$ と等しく、 $m_{k'k}$ は、選択された前記第 1 の優先レベル X_k 及び前記第 2 の優先レベル $X_{k'}$ の所定の価値関数である、ことを特徴とする方法。

【請求項 2】

ティット・フォー・タットタイプの相互関係メカニズムの存在下で、前記交換価値は、前記 N 個のデータブロックを受信したい前記ピアが、選択された前記第 1 の優先レベル X_k に従う前記 N 個のデータブロックの受信と引き替えに、選択された前記第 2 の優先レベル $X_{k'}$ に従って少なくとも 1 つの他のピアへ送信すべきであるデータブロックの数 M と等しい、ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 3】

夫々のピアが、データの送信に関して自身の挙動に従って時間とともに変化する仮想通貨又は信頼値と関連付けられるところのレピュテーションタイプの相互関係メカニズムの存在下で、前記交換価値は、選択された前記第 1 の優先レベル X_k に従う前記 N 個のデータブロックの受信と引き替えに、前記仮想通貨又は信頼値から減じられる、ことを特徴とする請求項 1 記載の方法。

【請求項 4】

前記組は、少なくとも、1 つの高優先レベル X_1 、1 つの通常優先レベル X_2 及び 1 つの低優先レベル X_3 を有する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のうちいずれか一項記載の方法。

【請求項 5】

前記組は、更に、データサーバによるデータブロックの送信と関連付けられる付加的な

優先レベル X_4 を有する、ことを特徴とする請求項 4 記載の方法。

【請求項 6】

前記付加的な優先レベル X_4 に従って N 個のデータブロックを自身へ送信するよう前記データサーバに要求するピアの要求の場合に、前記データサーバは、前記 N 個のデータブロックの送信を要求する前記ピアが、前記通信ネットワークへ接続されている通信設備の所定のアイテムへデータを予め送信している場合にのみ、前記 N 個のデータブロックの送信を進める、ことを特徴とする請求項 5 記載の方法。

【請求項 7】

前記通信設備は、前記通信ネットワークへ接続される他のピア、前記データサーバ及び専用のサーバを含む群から選択される、ことを特徴とする請求項 6 記載の方法。

【請求項 8】

少なくとも 1 つの通信ネットワークへ接続されているピアに対するピア・ツー・ピアモードでのデータの送信を管理する装置であって、夫々の送信が、選択された相互関係メカニズムに従って、前記ピアによって他のピアからの要求の受信の後に行われる装置において、

前記ピアが、少なくとも 2 つの異なる優先レベルの組から選択される第 1 の優先レベル X_k に従って、 N 個のデータブロックを他のピアから受信したい場合に、前記組から選択される第 2 の優先レベル $X_{k'}$ に従って、少なくとも 1 つの他のピアへ送信すべきデータブロックの数 M と等しい交換価値を当該ピアへ割り当てるよう配置され、

M は $N \times m_{k k'}$ と等しく、 $m_{k k'}$ は、選択された前記第 1 の優先レベル X_k 及び前記第 2 の優先レベル $X_{k'}$ の所定の価値関数である、ことを特徴とする装置。

【請求項 9】

少なくとも 1 つのピア・ツー・ピアタイプの通信アプリケーションを有するピアであって、

請求項 8 記載の、ピア・ツー・ピアモードでのデータの送信を管理する装置を更に有する、ことを特徴とするピア。